

扶養親族等申告書 作成用シート(平成 30 年用)

司法書士国民年金基金

- 準備のため、ご家族の構成を記入してみましょう。

ご家族	お名前	ご年齢	障害	別居の場合に○、 海外等非 居住○印	1年間のご収入(平成 30 年)	
					予測金額(※)	種類
配偶者の方	(死別、離婚、生死不明)	歳	無・普・特	別・非	万円	年金・給与
お子様		歳	無・普・特	別・非	万円	年金・給与
〃		歳	無・普・特	別・非	万円	年金・給与
親御様		歳	無・普・特	別・非	万円	年金・給与
〃		歳	無・普・特	別・非	万円	年金・給与
他扶養親族		歳	無・普・特	別・非	万円	年金・給与

(注意)ご年齢は、すべて平成 30 年 12 月 31 日でご判断ください。

※ 実際にお受け取りになる総額。申告書にご記入いただく「所得金額の見積額」は、この予測金額ではありません。「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書(平成 30 年分)記入要領」A3 両面の裏面「Ⅲ 所得金額の見積額の計算方法」をご覧ください。

- 扶養親族等申告書をご覧になりながら、記入してみましょう。

①控除対象配偶者の記入

質問 1 あなたには、生計を一つにする配偶者の方がおられますか？

- は い⇒質問(ア)へ
- いいえ⇒申告書①の欄に「0」を記入。質問 7 へ

質問(ア) 配偶者の方の所得金額の見積額は 85 万円（給与収入のみであれば 150 万円）以下ですか？

- は い⇒質問(イ)へ
- いいえ⇒85 万円（給与収入のみは 150 万円）を超える方は申告の対象にはなりません。申告書①の欄に「0」を記入。質問 7 へ

質問(イ) あなたの所得金額の見積額は 900 万円超えますか？

- は い⇒質問(ウ)へ
- いいえ⇒質問 2 へ

質問(ウ) 配偶者の方には年金や給与など収入がございますか？

- は い⇒質問(エ)へ
- いいえ⇒質問(オ)へ

質問(エ) 配偶者の方の平成 30 年度中の所得金額の見積額は 38 万円（給与収入のみであれば 103 万円）以下ですか？

- は い⇒質問(オ)へ
- いいえ⇒38 万円（給与収入のみは 103 万円）を超える方は申告の対象にはなりません。申告書①の欄に「0」を記入。質問 7 へ

質問(オ) 配偶者の方は障害者ですか？

- は い⇒質問(カ)へ
- いいえ⇒配偶者の方が障害者でない場合は申告の対象にはなりません。申告書①の欄に「0」を記入。質問 7 へ

質問(カ) 配偶者の方は普通障害者ですか？特別障害者ですか？

- 普通障害者⇒申告書①の欄に「A」と配偶者の方の状況を記入。質問7へ
- 特別障害者⇒質問(キ)へ

質問(キ) 特別障害の配偶者の方と同居していますか？

- 同居⇒申告書①の欄に「B」と配偶者の方の状況・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。質問7へ
- その他⇒申告書①の欄に「C」と配偶者の方の状況・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。質問7へ

質問2 配偶者の方には年金や給与など収入がございますか？

- はい⇒質問3へ
- いいえ⇒質問4へ

質問3 配偶者の方の平成30年度中の所得金額の見積額は38万円(給与収入のみであれば103万円)以下ですか？

- はい⇒質問4へ
- いいえ⇒38万円(給与収入のみは103万円)を超える方は申告の対象にはなりません。申告書①の欄に「0」を記入。質問7へ

質問4 配偶者の方は障害者ですか？

- はい⇒質問5へ
- いいえ↓
 - ◇ 配偶者の方が70歳未満なら申告書①の欄に「1」と配偶者の方の状況を記入。質問7へ
 - ◇ 配偶者の方が70歳以上なら申告書①の欄に「2」と配偶者の方の状況(老人に○)を記入。質問7へ

質問5 配偶者の方は普通障害者ですか？特別障害者ですか？

- 普通障害者↓
 - ◇ 配偶者の方が70歳未満なら申告書①の欄に「3」と配偶者の方の状況・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。質問7へ。
 - ◇ 配偶者の方が70歳以上なら申告書①の欄に「4」と配偶者の方の状況(老人に○)・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。質問7へ。
- 特別障害者⇒質問6へ

質問6 特別障害の配偶者の方と同居していますか？

- 同居↓
 - ◇ 配偶者の方が70歳未満なら申告書①の欄に「5」と配偶者の方の状況・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。質問7へ。
 - ◇ 配偶者の方が70歳以上なら申告書①の欄に「6」と配偶者の方の状況(老人に○)・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。質問7へ。
- その他↓
 - ◇ 配偶者の方が70歳未満なら申告書①の欄に「7」と配偶者の方の状況・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。質問7へ。
 - ◇ 配偶者の方が70歳以上なら申告書①の欄に「8」と配偶者の方の状況(老人に○)・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。質問7へ。

②～⑬扶養親族者数の記入

質問7 あなたには、生計を共にしている配偶者以外の16歳以上の親族の方がおられますか？

- はい⇒質問8へ
- いいえ⇒申告書②～⑬の欄にすべて「0」を記入。質問14へ

質問 8 親族の方には年金や給与など収入がありますか？

- は い⇒質問 9 へ
- いいえ⇒質問 10 へ

質問 9 親族の方の平成 30 年度中の所得金額の見積額は 38 万円以下ですか？

- は い⇒質問 10 へ
- いいえ⇒38 万円を超える方は、申告の対象にはなりません。

質問 14 へ(親族の方が複数おられる場合は、質問 7 へ戻る)

質問 10 親族の方は障害者ですか？

- は い⇒質問 12 へ
- いいえ⇒質問 11 へ

質問 11 親族の方は 19 歳以上 23 歳未満 または 70 歳以上ですか？

- いいえ⇒申告書②の欄に親族の「人数」と扶養親族の方の状況を記入。
- 19 歳以上 23 歳未満⇒申告書③の欄に親族の「人数」と扶養親族の方の状況を記入。
- 70 歳以上⇒申告書④の欄に親族の「人数」と扶養親族の方の状況を記入。

質問 14 へ(親族の方が複数の場合は、質問 7 へ戻る)

質問 12 親族の方は普通障害者ですか？特別障害者ですか？

- 普通障害者↓
 - ◇ 19 歳以上 23 歳未満⇒申告書⑥の欄に親族の「人数」と扶養親族の方の状況(特定に○)・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。
 - ◇ 70 歳以上⇒申告書⑦の欄に親族の「人数」と扶養親族の方の状況・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。
 - ◇ その他の年齢⇒申告書⑤の欄に親族の「人数」と扶養親族の方の状況・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。

質問 14 へ(親族の方が複数の場合は、質問 7 へ戻る)

- 特別障害者⇒質問 13 へ

質問 13 特別障害の親族の方と同居していますか？

- 同居↓
 - ◇ 19 歳以上 23 歳未満⇒申告書⑨の欄に親族の「人数」と扶養親族の方の状況(特定に○)・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。
 - ◇ 70 歳以上⇒申告書⑩の欄に親族の「人数」扶養親族の方の状況・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。
 - ◇ その他の年齢⇒申告書⑧の欄に親族の「人数」と扶養親族の方の状況・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。

質問 14 へ(親族の方が複数おられる場合は、質問 7 へ戻る)

- その他↓
 - ◇ 19 歳以上 23 歳未満⇒申告書⑨の欄に親族の「人数」と扶養親族の方の状況(特定に○)・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。
 - ◇ 70 歳以上⇒申告書⑩の欄に親族の「人数」扶養親族の方の状況・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。
 - ◇ その他の年齢⇒申告書⑧の欄に親族の「人数」と扶養親族の方の状況・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。

質問 14 へ(親族の方が複数おられる場合は、質問 7 へ戻る)

⑭～⑯、⑱年少扶養親族者数の記入

質問 14 あなたには、生計を共にしている配偶者以外の 16 歳未満の親族の方がおられますか？

- は い⇒質問 15 へ
- いいえ⇒申告書⑭～⑯、⑱の欄にすべて「0」を記入。質問 18 へ

質問 15 その親族の方は障害者ですか？

- は い⇒質問 16 へ
- いいえ⇒申告書⑱の欄に親族の「人数」と扶養親族の方の状況を記入。

質問 18 へ（親族の方が複数の場合は質問 14 へ戻る）

質問 16 親族の方は普通障害者ですか？特別障害者ですか？

- 普通障害者⇒申告書⑭の欄に親族の「人数」と扶養親族の方の状況・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。

質問 18 へ（親族の方が複数の場合は質問 14 へ戻る）

- 特別障害者⇒質問 17 へ

質問 17 特別障害の親族の方と同居していますか？

- 同居⇒申告書⑮の欄に親族の「人数」と扶養親族の方の状況・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。

- その他⇒申告書⑯の欄に親族の「人数」と扶養親族の方の状況・摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。

質問 18 へ（親族の方が複数の場合は質問 14 へ戻る）

⑰本人障害・寡婦・寡夫の記入

- ✓ 「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書(平成 30 年分)記入要領」A3 両面の裏面「◆「障害の内容」◆「寡婦・特別寡婦・寡夫」をご覧ください。

質問 18 あなたご本人は障害者ですか？

- は い⇒質問 19 へ
- いいえ↓

◇ 寡婦・特別寡婦・寡夫に該当しない場合⇒申告書⑰の欄に「0」を記入。

◇ 寡婦・寡夫に該当する⇒申告書⑰の欄に「3」と摘要欄に寡婦の種別を記入。

◇ 特別寡婦に該当する場合⇒申告書⑰の欄に「6」と摘要欄に「特別の寡婦」を記入。

質問はすべて終わりです。

質問 19 あなたご自身は普通障害者ですか？特別障害者ですか？

- 普通障害者↓

◇ 寡婦・特別寡婦・寡夫に該当しない場合⇒申告書⑰の欄に「1」と摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。

◇ 寡婦・寡夫に該当する⇒申告書⑰の欄に「4」と摘要欄に寡婦の種別と障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。

◇ 特別寡婦に該当する場合⇒申告書⑰の欄に「7」と摘要欄に「特別の寡婦」と障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。

質問はすべて終わりです。

- 特別障害者↓

◇ 寡婦・特別寡婦・寡夫に該当しない場合⇒申告書⑰の欄に「2」と摘要欄に障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。

◇ 寡婦・寡夫に該当する⇒申告書⑰の欄に「5」と摘要欄に寡婦の種別と障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。

◇ 特別寡婦に該当する場合⇒申告書⑰の欄に「8」と摘要欄に「特別の寡婦」と障害者手帳等の種類、交付年月日等を記入。

質問はすべて終わりです。

- ◇ あなたのご住所、ご氏名(フリガナ)、ご捺印、生年月日、年金証書記号番号(6050-*****)または加入員番号(6000-*****)、ご連絡先の電話番号をご記入の上、返信用の封筒に封入し切手を貼って、ご投函下さい。

- ◇ ご不明な点がございましたら、基金あてご連絡ください。